

静岡県MSW協会主催県民公開講座開催 10年を振り返る ～職能団体が行う社会活動の在り方～

静岡県医療ソーシャルワーカー協会事務局 矢野裕基

要旨

職能団体である静岡県医療ソーシャルワーカー協会（以下、静岡県MSW協会）で社会活動として実施してきた「県民公開講座」について、理事として携わった10年間を総括したので報告する。

1 目的

職能団体として静岡県MSW協会は、60年前に発足した。そもそも職能団体とは「専門職としての自らの能力を高め、会員の処遇を改善し、専門職として社会的地位を確保することで社会に貢献しようとする集団」であるが、公的資金使用への厳しい眼差しや職能団体の法人化の流れとも相まって、近年は専門職の団体で社会活動を実践し、直接的に社会へ貢献することが求められるようになった。そのような流れのなかで、静岡県MSW協会でも2005年より継続して県民公開講座を開催して来た。しかし、これまでに十分な振り返りができていたとは言い難い。そこで理事としてこの10年間継続して県民公開講座の開催に携わって来た自分の経験を総括し、他団体の皆様とも共有したなかで、今後の静岡県MSW協会の、しいては職能団体が行う社会活動の在り方について検討するための材料とできるようにすることを目的としてまとめた。

2 方法

2010年から2019年に開催した県民公開講座について①テーマ、②実施の形態、③講師の人数、④講師の種類、⑤参加人数、⑥開催地域、⑦費用といった観点からデータを集計・整理し、アンケート結果などもふまえて検討を行った。

3 結果（一部抜粋）

年度	テーマ	形態	参加人数	地区	費用	参加者1名あたり
2010	貧困問題	講演	91	中部	¥284,985	¥3,132
2011	災害支援	シンポ	30	西部	¥261,428	¥8,714
2012	認知症	講演+シンポ	55	東部	¥264,966	¥4,818
2013	災害支援	講演+パネル	41	中部	¥268,966	¥6,560
2014	うつ病 認知症	講演+意見交換会	49	西部	¥281,571	¥5,746

2015	地域包括ケアシステム	講演+パネル	72	東部	¥286,260	¥3,976
2016	おひとり様・地域包括ケア	講演+パネル	72	中部	¥277,120	¥3,849
2017	地域包括ケアシステム	講演+パネル	63	西部	¥285,442	¥4,531
2018	感染症 偏見差別	パネル	70	東部	¥300,359	¥4,291
2019	両立支援	講演+実践報告	40	中部	¥310,614	¥7,765

表中：シンポ = シンポジウム

パネル = パネルディスカッション

4 考察

テーマはその時々で話題となっている社会問題を取り上げていた。実施形態は「講演」か「パネル」を含む形態での実施が多く、「シンポ」を含む形態では参加人数が少なかった。参加人数は30名～91名であった。10年間の継続による参加人数の増加は認められなかった。著名な講師の回は参加人数が多かった。当事者の参加・発言があった回はアンケートの評価が高かった。開催地区による参加人数の偏りはみられなかった。参加者一人あたりのコストは3132円～8714円と大きな差がみられた。費用の内訳からは周知活動に多くの費用を使用していた。また、後援を受けた回は少なく、後援の有無で参加人数の差はみられなかった。

5 まとめ

様々なテーマを取り上げながら、毎年一定数の参加者は集められているものの、参加人数の大きな増加はみられていない。県の補助金を使用しており、様々な面で判り易い実施方法である県民公開講座を継続しているが、様々なコストに見合った活動なのか疑問がある。今後、県民公開講座以外にも検討する必要があると考える。
※ なお、プライバシーの保護に抵触する内容は含まれておりません。